



加工不良を徹底的に抑え込む 「プレス加工DXシステム」を開発しました！

工業技術総合センターでは、株式会社ニチダイ(京都府)と共同で、加工不良を出さないための「プレス加工DXシステム」を開発しました。

開発の背景

金属プレス加工では、金型の異常による加工不良の発生が問題となっています。そこで、金型の異常をより早く検知する研究に着手しました。

開発の成果

金型内部に各種センサーを取り付けることで金型内部の状態の「見える化」を実現しました。

各種センサーの値から異常を検知することで、加工不良の発生を「初期段階」で抑えられるようになりました。

荷重センサー
変位センサー
振動センサー

異常発生！

プレス金型

各種センサーを設置した金型

センサーデータのリアルタイム参照

過去データの参照

モニター画面例

状態確認中の様子

開発技術の実装について

本システムは、現在、県内企業で試験的に導入して実際の生産現場での性能評価を進めており、システムの有効性について確認されております。

本システム・技術についてご興味を持たれた方、実装を希望する方には生産工程に応じた技術支援をいたしますので、お問合せください。



みんなで作ろう！子ども・子育てに優しい信州

(問合せ先)

担 当 産業労働部産業技術課
技術振興係 小山、多田
電 話 026-235-7196
電子メール sangi@pref.nagano.lg.jp

(問合せ先)

担 当 工業技術総合センター
精密・電子・航空技術部門
加工部 新井、長洲
電 話 0266-23-4052
電子メール seimitsushiken@pref.nagano.lg.jp